

平成30年度第3回（通算第6回）

北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備基本計画及び八雲町立地適正化計画策定検討会議 議事記録

平成31年2月28日(木) 14時00分～14時50分（所要50分）

【委員】

(敬称略)

所属・役職	氏名
新函館農業協同組合 八雲基幹支店 女性部理事	舟田 芳子
山越郡森林組合長	牧野 仁
八雲町漁業協同組合 青年部長	久保田 正明
八雲町漁業協同組合 女性部長	久保 扶佐子
八雲商工会 女性部副部長	大久保 和恵
北洋銀行 八雲支店長	酒井 正俊
八雲町社会福祉協議会長	秋松 等
八雲総合病院医事課長補佐	石黒 陽子
北里大学獣医学部フィールドサイエンスセンター長 教授	寶示 戸雅之
一般公募	稗田 一俊

【オブザーバー】

所属・役職	氏名
北海道開発局 函館開発建設部 道路計画課長	谷内 敬功
北海道渡島総合振興局 地域創生部 地域政策課長	萩野 貴也
北海道渡島総合振興局 函館建設管理部 事業室道路課長	椋平 剛史
北海道警察 函館方面八雲警察署 交通課 交通係長	辻村 禎隆※代理出席
北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部新幹線計画部主幹	佐野 将義

【八雲町】

所属・役職	氏名
八雲町長	岩村 克詔
八雲副町長	吉田 邦夫
八雲副町長	萬谷 俊美
企画振興課長	竹内 友身
新幹線推進室長	阿部 雄一
新幹線推進室参事	藤澤 久雄
新幹線推進室推進係	横木 潤也
建設課長	馬着 修一
建設課土木技術主幹	藤田 好彦
建設課都市計画係長	池田 裕史



主な意見（議事概要）

【議論① (1)立地適正化計画(案)】

- パブリックコメントはどのような形で公表したのか。
 - HP に、新幹線と立地適正化計画とを合わせて実施。閲覧場所を 3 箇所用意した。
- 関係機関とは具体的にどこか
 - 北海道開発局、国土交通省、北海道都市計画課

【議論② (2)新幹線新駅周辺整備基本計画書(案)】

- 基本理念は案 3 で決定
- 資料 3 について、図に細かい寸法を入れない方がよいのでは？
 - 数字等の表現は入れない

【議論③ その他】

- 地域公共交通網形成計画のスケジュールを教えてください
 - 平成 31 年度に計画を作る。3 月に地域公共交通会議を立ち上げる。
- 新幹線駅近くの掘削残土をどうするのか
 - 具体的には決まっていないが、今後の新幹線駅周辺整備の中で、委員・議会と相談しながら考えていきたい。まずは景観をよくすることを優先した。
- 新八雲駅には早い列車を通過させる線路を造るのか
 - 造らない。2 面 2 線である。

第3回北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備基本計画及び八雲町立地適正化計画策定検討会議

議事記録

<p>開会</p>	<p>(事務局 新幹線推進室長)</p> <p>本日はお忙しいなか、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、平成30年度第3回北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備基本計画及び八雲町立地適正化計画策定検討会議を開催致します。</p> <p>本日の委員の出欠状況ですが、長谷川委員、古田委員、小西委員、前川委員の4名が欠席。吉田委員からは若干遅れて来られる旨の連絡をいただいておりますのでご報告致します。また本会議には計画策定の協議に関する助言をいただくため関係機関の方にオブザーバーをお願いし、ご出席いただいております。</p> <p>それでは開会にあたりまして、岩村町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>町長挨拶</p>	<p>(町長)</p> <p>皆さんこんにちは。町長の岩村でございます。今日は大変お忙しいなか、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃より、町政の推進に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げる次第であります。</p> <p>八雲町の立地適正化計画と新八雲駅周辺整備基本計画につきましては、皆さんの議論をもって、今回まとめる段階に入りました。立地適正化計画、不思議なもので、人口減少の中で町としてある程度、「適正」という言葉が合うかどうかは疑問ですが、やはりコンパクトにしていく方が行政コストは上がらないということで、皆さんもご存知のとおり30年後には八雲町の人口は半減するという統計も出ておりますので、その辺を見据えながらこれからのまちづくりを進めてまいりたいという思いであります。</p> <p>また新幹線につきましても、今回まとめていよいよ次の段階として具体的な駅周辺整備等といった議論を深めながら、11年後の開業に向け進んでいく。いよいよ駅舎の近くの土地の買収等も、雪が解けた頃から始まるような情報も得ておりますので、我々町としてもトンネル工事等、また駅舎の工事等ありますので、安心・安全に工事を進めようということで鉄道・運輸機構の方とも会うたびにお伝えしながら工事を進めているところであります。</p> <p>最後になりますけれども、この皆さんに意見をいただきながら、新幹線駅周辺整備基本計画と立地適正化計画をまとめてまいりたいと思っておりますので、皆さんにご協力をお願い申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室長)</p> <p>続きまして、会長よりご挨拶をお願い致します。</p>
<p>会長挨拶</p>	<p>(会長)</p> <p>皆さんお忙しいなか、本日の会議にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本会議はいよいよ最後の検討会ということで、計画案を決定する段階になりました。委員の皆さんからご意見を頂戴し、計画案をまとめていきたいと考えておりますので、会議の進行などよろしくお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室長)</p> <p>それでは、早速検討事項に入りたいと思いますが、以降の会議の進行につきましては会長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。</p>

	<p>(会長)</p> <p>それでは、これから会議次第に沿って進めてまいります。</p> <p>まず、検討事項(1)立地適正化計画案について検討致します。最初に資料(1)について事務局の方から説明をお願い致します。</p>
事務局説明	<p>(事務局 建設課都市計画係長)</p> <p>私から立地適正化計画案について説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>立地適正化計画につきましては、これまで計5回の計画策定検討会議を開催し、検討を行ってまいりました。昨年11月20日の会議で、計画書の素案がまとまり、その後、国や北海道との関係機関協議を経て、昨年12月25日から本年1月24日までの1ヶ月間パブリックコメントを実施致しましたが、特に提出意見はございませんでした。</p> <p>本日は、前回の会議後に行った関係機関協議における国や北海道からの計画書素案に対する意見を受け、変更した内容についてご説明させていただきたいと思っております。委員の皆様方には、資料を事前配布させていただきましたが、本会議においては説明資料として訂正前の計画書と訂正後の計画書を比較できるように再度資料を作り直しましたので、本日配布の資料をご覧くださいと思います。</p> <p>まずは資料(1)の1枚目に関係機関協議で出された、主な意見を記載しております。これ以外にも誤字脱字、軽微な文言の訂正はありましたが、出された意見の大半はもっとわかり易い表現に変えるよう記載の修正、追加を行ったものがほとんどであります。それでは資料(1)左側にナンバーがついておりますが、順を追って説明してまいります。</p> <p>No.1は都市計画区域についての意見でございます。立地適正化計画の検討にあたっては、制度上、既存の都市計画区域が検討対象となりますが、新幹線新駅周辺整備計画において牧歌的な風景を守るために、都市計画区域を拡大して新幹線新駅周辺を編入することを検討していることから、本計画の対象となる都市計画区域が変更される予定があるのであれば、対象拡大に伴う立地適正化計画の対応方針について、記述するよう指摘がありました。</p> <p>カラー刷りの資料1ページをご覧ください。なお、カラー刷りの資料のページ番号は中央の下部にある番号でご確認いただきたいと思います。1ページ左側が、前回の会議の資料で変更前の素案となります。右側は変更後の素案となり、赤枠で囲んだ部分を追加しております。</p> <p>新幹線新駅周辺部の都市計画区域拡大を予定しているが、居住や都市機能を誘導するエリアとはせず、景観等周辺環境の保全を目的としていることについて記載しております。</p> <p>次にNo.2の意見、ハザードマップについて図の修正を行っております。カラー刷りの資料2ページ目をご覧ください。左側の変更前の素案では、土砂災害危険箇所と土砂災害警戒区域の二つの図を表記しておりました。これらのハザードマップの出典元が明記されていないことや、土砂災害警戒区域の指定が、居住誘導区域には存在していなかったため、危険箇所を表示していなかったこと、また使用したデータが古い可能性があることについて指摘を受け、2ページの右側のように二つの図を一つにまとめ、内容については最新のデータを確認し、出典元についてもアンダーラインにある通り明記しております。</p> <p>次にNo.3の意見となりますが、まちづくりの方針についてでございます。北海道新幹線新</p>

八雲(仮称)駅周辺整備基本計画の概要についても、今後のまちづくりの重要な要素となるため、参考として記載した方がよいという指摘がありました。カラー刷り資料3ページをご覧ください。指摘の通り右側の下部、赤枠の部分に基本計画の概要を参考として追加しております。新幹線の駅が春日地区にできること、整備については必要最低限の整備とする方針であること、居住や都市機能を誘導するエリアとはしない、景観等周辺環境の保全を目的とした登記などを記載してございます。

次にNo.4、5の意見となります。本計画による誘導区域の方針について、誘導区域内の土地利用の方向性についても記載した方がよい、また国の方針であります「コンパクト・プラス・ネットワーク」について、都市機能誘導区域におけるネットワークに関する記述をもっとわかりやすく表現するよう指摘がありました。資料の4ページをご覧ください。右側上段の赤のアンダーラインで示した部分を追記しております。

都市機能誘導区域内の拠点間を公共交通で結ぶという方針であります。出雲通については現在のところ公共交通がありません。しかし今後公共交通のネットワークの形成を図り、町民の利便性を高める市街地づくりを目指すものとし、都市機能誘導区域図に今後新たに想定する公共交通のネットワークとして、シルバープラザの周辺から八雲総合病院までのルートを青い点線で示しております。

また、下の赤枠の中に誘導区域以外の土地利用の方向性を既存の都市計画マスタープランの内容に照らし合わせ、整理して追加しております。内浦については、漁業振興エリアとしての機能の維持、立岩・三杉町の一部については工業の集積地としての機能の維持、元町・東雲町の一部については、各種需要に応じた国道の沿道サービスの維持、既存住民に対する防災に考慮した居住環境の維持ということで、これは居住誘導区域内に津波の浸水想定区域が含まれるという部分も含めて書いております。

また、三杉町・栄町の一部については、既存の住民に対する居住環境の維持ということで、三杉町・栄町については農地の部分を除外したのですが、それ以外の部分にも住居が結構はりついているというのがありますので、その部分の環境を維持していきますよということ、それ以外の用途地域外として自然の保全、農地の保全というこれらについては、全て既存の八雲町マスタープランの方向性について整理し記載してございます。

次にNo.6～8の意見については、誘導施設についてであります。資料の5ページをご覧ください。左側の変更前の素案の表記において、誘導と維持の区別をしていたのですが、立地を維持する施設についても誘導施設となるのかどうかわかりづらいということや、誘導施設の定義が不明瞭である、また、どうして商業施設を今回はずしたのかという記載をした方がよいという指摘を受けました。

そこで誘導施設については、表記を大きく変更して、誘導施設として選択した施設の目的に関する記述追加と、商業機能についてはJR在来線の動向に左右される商店街も含まれることから、現段階では誘導施設とはせずに在来線の動向が明らかになった時点で改めて検討の対象とするということについて記載しました。また、「立地を誘導する、維持する」とした表現をやめて、誘導する施設として表記した通り5種別、7つの施設機能として、それぞれ法的根拠を示し、定義を明確に致しました。

次に、No.9の意見であります。誘導区域の防災対策について、資料の6ページをご覧ください。

	<p>ださい。本計画においては、居住誘導区域に一部、浸水区域が含まれることから、町としての取組みとして防災に関する各種情報の提供、訓練の実施等々、記載してはありますが、もう少し具体的に地域計画等に基づく記載をするよう指摘がございました。八雲町では平成27年に八雲町地域防災計画というものを策定しておりますので、右側のアンダーラインで示した部分になりますが、この計画を基本として予防対策と情報の事前周知、災害時の情報収集及び伝達を強化するという記述を追加しております。また、赤枠で囲んだ地域防災計画の津波・河川氾濫という洪水時の具体的な対応方針を追加しております。</p> <p>次にNo.10の意見に行きますが、都市機能や居住誘導に関する届出についての意見であります。資料の7ページをご覧ください。本計画が公表されますと、誘導区域外における一部開発行為、建築行為に届出義務が必要になりますが、今年度の法改正によってそれだけではなく、都市機能誘導区域内に既にある誘導施設を休止、または廃止しようとする場合にも町への届出が必要となりましたので、この部分を法改正に合わせて追加致しました。</p> <p>最後にNo.11、12の意見となりますが、取組み目標の設定値指標の追加について、これについて説明して私からの説明を終わりたいと思います。資料の8ページをご覧ください。変更前の素案では、取組みの目標設定として一つ目が居住誘導区域内の人口の用途地域内に対する割合。もう一つが総合計画における八雲町は住みやすいとするアンケートの回答率を検証の指標としておりましたが、立地適正化計画は公表後、5年ごとに効果検証を行いますが、総合計画のアンケート調査が5年後の中間見直し時に実施されるか決定していないということや、公共交通に関する目標値についても、指標を追加するよう国から指摘がありました。8ページ右側の赤枠で囲まれた2つの指標を追加しております。</p> <p>一つ目は、②都市機能誘導区域内における、誘導施設に位置づけた機能の充足率であります。現在、都市機能誘導区域内にある都市機能としては、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、幼稚園、病院、集会施設の5機能が既に都市機能誘導区域内にございます。まだ無い機能としては役場庁舎や子育て支援センターまたは学童保育所等の2つの機能が無い状況であります。</p> <p>続いて③居住誘導区域内における公共交通の徒歩圏人口。これについては、公共交通の利用拠点から一定程度の距離に含まれる人口の抽出図であります。具体的には、鉄道の駅から半径800メートル、バス停から半径300メートルの範囲内に居住する人口の数を示しております。今後新たな公共交通網を検討し、出雲通等に新たな停留所等ができれば、数値が上がることになり、既存の公共交通がなくなれば数値が下がることになります。そういった指標でございます。</p> <p>以上の二つを追加したこれら4つの指標を用い、それぞれ20年後の目標値を設定し、検証を行ってまいります。目標値の設定にあたっては、②の指標以外、現状値または推定値の一律5%アップを目標値として設定しております。また、わかりやすい表記とするために、各指標の算出方法についても記載を追加致しました。</p> <p>以上で、前回の会議以降、関係機関協議の中で指摘され、それに基づき変更した素案の内容の説明を終わります。以上です。</p>
<p>質疑応答、意見交換</p>	<p>(会長)</p> <p>ただいま事務局から、前回の会議において承認いただいた計画素案について、関係機関</p>

	との協議の中で、助言や意見があったことからこれに基づき、計画素案への追加や修正を行いたいとの提案説明がありました。ご意見、ご質問があればお願い致します。
	(委員) 第5回で決定した内容について、1回パブリックコメントを募集したわけですよね？その結果、1件もなかったのですか？それはどういう形で公表されたのですか？
	(事務局 建設課都市計画係長) パブリックコメントにつきましては、八雲町の広報とホームページによって新幹線の計画と立地適正化計画と一緒に実施したのですが、1件も提出意見がありませんでした。閲覧場所としては3箇所用意して周知はしたのですが、パブリックコメントとしては無かったということでもあります。
	(委員) パブコメが無かったというのは残念ですね。それぞれ個人のスマホやパソコンでPDFをダウンロードして見られるようにしてあったわけですか？
	(事務局 建設課都市計画係長) そのとおりです。
	(委員) その後、関係機関からの要望がこれだけ、貴重なご指摘だと思いますが、関係機関とは国・北海道とは具体的にどこになりますか？
	(事務局 建設課都市計画係長) 北海道開発局、それと国土交通省、北海道都市計画課です。
	(会長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。
	(委員) はい。
	(会長) その他ご意見、ご質問ございますか？ 他にご発言がございませんようでしたら、前回の会議で承認しました計画素案をただいま事務局が説明した資料の通り、追加・修正した内容で計画案として取りまとめるということでよろしいでしょうか？
	(委員一同) はい。
	(会長) それではご異議がありませんので、そのように決定致しました。 次に、資料1-2について事務局から説明をお願いします。
事務局説明	(事務局 建設課都市計画係長) 先ほどご説明した資料1の裏面に、資料1-2と書いている部分がございます。八雲町立地適正化計画のスケジュールについてということで記載をしております。これまで5回、本日を含め6回の検討策定会議を実施し、検討を行ってまいりましたが、今後の日程についてご説明させていただきたいと思います。

	<p>ただいまこの計画素案が「案」となりましたので、3月5日に八雲町都市計画審議会に諮問をして都市計画審議会の中で計画案を審議致します。そして内容に問題がなければ答申を受け、正式に八雲町立地適正化計画が成案化されるということになります。その後、平成31年3月26日に町民説明会を公民館で行いたいと考えております。制度自体は平成31年4月1日以降、八雲町立地適正化計画公表ということで、具体的には先ほど言いました届出が必要になる、誘導区域外で3戸以上の住宅を建てる時、又は開発行為を行う土地の規模が1000平米以上の場合には届出が必要になります。また、八雲町立地適正化計画策定検討会議については、今会議第6回の計画策定検討会議をもって終了となります。</p> <p>最後に、委員の皆様方におかれましては、お忙しい中本計画策定に向け検討を重ねていただき誠にありがとうございました。</p> <p>八雲町立地適正化計画は、深刻な人口減少に対して町の方向性を町民の皆様方と共有するきっかけづくりになるものと考えております。今後も、人口減少の推移に応じて、誘導政策を検討し、20年後の目標値が達成できるよう八雲町全体で、持続可能なまちづくりを考えてまいりたいと思いますので、今後とも皆様のご協力をお願いし、私からの説明を終えたいと思います。</p>
<p>質疑応答、意見交換</p>	<p>(会長)</p> <p>ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか？</p> <p>今後のスケジュールについては、各委員に報告をされたということと致します。委員の皆様につきましては、今後のスケジュールとご承知おきください。立地適正化計画検討会議はこの6回目をもって終了ということでございます。</p> <p>それでは次に、検討事項の(2)新幹線新駅周辺整備基本計画案について事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>私の方からは、新幹線新駅周辺整備基本計画案についてご説明致します。</p> <p>昨年12月25日から、先月の1月24日までの1ヶ月間、パブリックコメントを実施致しましたが、意見等の提出はございませんでした。</p> <p>新駅周辺整備基本計画素案におきましては、修正箇所や素案に関し意見などがございませんでしたので、前回会議で今回決めるとしておりました基本理念を含め、新幹線新駅周辺整備基本計画案と致したいと思います。</p> <p>資料2をご覧ください。前回の策定検討会議での意見などから、既に委員の皆様には新たな4案をご提案しているところでありますが、案1は前回お示しました案1の「ちょっと降りてみたい」という表現を「誰もが降りてみたい」に変更したものであります。また、案2及び案3は、前回お示しました案1の「牧場の中にある駅」を残し、「2つの海」と「大地」の表現を加えたものであります。案4につきましては、シンプルに今回の新駅周辺整備基本計画の素案の考え方を表現したものであります。4つの案のうち、どの案がよいかご検討をよろしくお願い致します。</p>
<p>質疑応答、意見交換</p>	<p>(会長)</p> <p>基本理念について、4つの案が提示されました。本日が本検討会の最後の会議でありますので、ここでこの基本理念を決定することになりますので皆さんからの積極的なご意見を</p>

	<p>お願いし、決定していきたいと思っておりますのでどうぞご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>資料は事前配布されておりましたので、委員の皆さんの「これがいいのではないか」と心に秘めてご出席いただいているものと理解しております。あまり固くなるといけないので、少し柔らかい雰囲気での基本理念を決めるという場にしたいと思っております。どのように進めていくかということですが、委員の皆さんから何か「こういう風に進めたらいいのではないか」というご意見があれば承りたいと思っておりますが、いかがでしょうか？</p> <p>特に無ければ、まず2つに絞りたいと思っております。一人2票、一人2回手を挙げてください。そのうちの上位を皆さんで検討したいと思っておりますが、そのような取り運びでいかがでしょうか？</p>
	<p>(委員一同)</p> <p>承認</p>
	<p>(会長)</p> <p>それでは案1がいいという方、挙手願います。案2がいいという方。案3がいいという方。案4がいいという方。ということで案1がゼロ、案2が6名、案3が7名、案4が2名と、このようになりました。</p> <p>それでは案2と3が決選投票ということになります。案2がいいとされた方で、応援の弁があれば、「これだから案2がいい」というご意見があればお願いします。よろしいですか？案3がいいとされた方で応援演説ありませんか。無ければ挙手で決めますか？</p>
	<p>(委員一同)</p> <p>承認</p>
	<p>(会長)</p> <p>それでは挙手で決めさせていただきます。案2がいいという方挙手願います。案3がいいという方。只今基本理念の提示案について委員の皆さんの意思を確認した結果、基本理念案につきましては案3で決定するというところでよろしいでしょうか？</p>
	<p>(委員一同)</p> <p>はい</p>
	<p>(会長)</p> <p>ご協力ありがとうございました。それでは案3で決定致しました。</p>
事務局説明	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>それでは案3の「二つの海をもつ八雲の大地にたつ、周辺の風景に調和した「牧場の中にある駅」」を基本理念と致しまして、新幹線新駅周辺整備基本計画案と致します。</p> <p>続きまして資料3をご覧ください。今回の新幹線新駅周辺整備基本計画での駅前広場等配置計画及び整備イメージ図における、駅舎のイメージであります。今回の新幹線新駅周辺整備基本計画における駅舎につきましては、平成18年の新幹線新駅周辺整備構想の駅舎の大きさや構造に基づいて図面を作成しておりますが、前回の会議で資料6としてご提示致しました通り、鉄道運輸機構からプラットホームの有効長などに関し、新たに資料提供があり、ホーム延長が新幹線の車両編成数の変更により100メートル程度延びているなどの変更箇所がありました。しかし保守基地の設置位置など確定したのではなく、今後の鉄道運輸機構の駅部土木工事の設計や、地権者など関係者との協議や調整で変更となる可能</p>

	<p>性が大きいこと、また、駅前広場などの周辺施設の規模やイメージに大きな変化はないことから、新幹線新駅周辺整備基本計画素案の通り、平成18年構想の駅舎の大きさのままとさせていただきます。</p> <p>駅舎などの鉄道施設につきましては、今後新たに示される鉄道運輸機構などの関係機関の計画案などにあわせ、この後ご説明致します新たな検討の場で協議、調整を計っていくこととなると考えております。</p>
質疑応答、意見交換	<p>(会長)</p> <p>只今の説明についてご意見、ご質問があればお願い致します。</p> <p>前回の素案で駅周辺配置図が作られているわけですが、そのときのプラットホームの長さが160メートルを想定して配置図が作られていた。ところがその後の鉄道運輸機構さんの動きの中で、約100メートル長くなるということが現地点でわかっていると。ただこれも今後どうなるかはわからないということでございますので、事務局と致しましては、前回素案で記された配置計画図をそのまま使って、もし延長があったとしても全体のイメージに大きな変更はないということで、素案の図面はそのままにしていきたいということの説明でございますので、この件についていかがでしょうか？</p> <p>特に問題がなければこのまま事務局の提案通り、素案の通りに進めていった方がいいかと思っております。</p>
	<p>(JR北海道)</p> <p>鉄道・運輸機構から資料が提示されている通り、ホーム長が当初よりも長くなっております。これは既に新函館北斗までこのホームができておりますので、もし18年の図を使われるということであれば、細かい寸法などが160メートル以外にも書かれておりますけれど、こういった寸法をはずした形で資料に記載された方が誤解はなくなるのではないのでしょうか。</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>パースの方には、平成18年構想のサイズ感で記載しておりますが、図面等につきましては、今回お示しました資料3の上の方にある平成18年構想の画は出てきませんので、このような数字等の表現はない状態になっております。</p>
	<p>(JR北海道)</p> <p>数字が出なければ大丈夫だと思います。</p>
	<p>(会長)</p> <p>計画素案を持ってきている委員さんがもしおられましたら、52ページの図面です。ここに駅のプラットホームの延長が書かれているわけですが、現状は何も入っていません。これが長くなると図面上、若干右側にずれる可能性があるかもしれませんが、基本的な配置計画は変わらないという事務局の説明でございましたので、今後変更があると思っておりますので、前回素案で決めた図面は修正しなくても計画案として取り進めていっていいのではないかと会長として判断していますが、よろしいですか？</p>
	<p>(委員一同)</p> <p>はい。</p>
	<p>(会長)</p> <p>ただいま事務局から説明があったように、基本的には駅前広場の配置計画は変わらない</p>

	<p>ということでありますので、素案を変更せず、このまま計画案とするということでよろしいでしょうか？</p>
	<p>(委員一同)</p> <p>はい。</p>
	<p>(会長)</p> <p>ご異議ありませんので、パブリックコメントと修正箇所はないということですので、本計画につきましては計画案として決定させていただきました。 次に資料4について事務局から説明願います。</p>
事務局説明	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>資料4をご覧ください。先ほど立地適正化計画の説明の中でもございましたとおり、現在の新幹線新駅周辺整備基本計画及び立地適正化計画策定検討会議につきましては、任期が平成31年3月31日までとなっておりますので、今回の会議で終了することとなりますが、新幹線新駅周辺整備につきましては、今後の新駅整備に向けて、八雲町の意見等を取りまとめるためにも、策定検討会議と同様の組織を設置したいと考えております。</p> <p>新たな検討会議では、駅舎のデザインを含め、新たな検討事項や今回策定致します新幹線新駅周辺整備基本計画で検討事項となっている案件などを検討する場として、現在の会議と同様の会議の設置を考えております。</p> <p>会議の大枠は、現在の要綱の名称や期限などを変更することで対応できるものと考えております。構成員の編成につきましても、現在と同様に進めたいと考えております。また、今後駅舎のデザインなどの検討を行う時期には、新たに高校生などの若い世代の方を追加するなどの対応も検討したいと思っております。新たな会議では、これまでの会議のように2ヶ年で計画を策定するような会議ではありませんので、検討事項に応じた開催となります。新幹線駅先進自治体の開催状況等を参考としますと、年に一回程度の開催となるのではないかと考えております。今後会議の詳細などは、固まりましたら皆様にご協力いただくこともあると思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>今回の会議をもって北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備基本計画素案を基本計画案と致したいと思っております。今後3月の議会常任委員会にて報告を行い、北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備基本計画を役場庁舎内にて決定する運びとなります。</p> <p>2年間、新幹線新駅周辺整備基本計画の検討にあたり、つたない説明に対応いただきましてどうもありがとうございました。私からの説明は以上となります。今後ともよろしくお願い致します。</p>
質疑応答、意見交換	<p>(会長)</p> <p>事務局から説明がございましたけれども、これに対しては特にご意見等はございませんか？本日をもって終了しますが、新幹線については新たな会議を開くという報告があったということですので、委員の皆さんにご承知おきいただければと思います。</p> <p>それでは最後に(3)のその他でございしますが、委員の皆さんから本日の会議に関することや、今回6回目でございましたけれども、今までの中で何かご意見があればお伺いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか？</p>

	<p>(JR北海道)</p> <p>これまでの会議の中で、地域公共交通網形成計画についても今後、町で取り組んでいくというお話があったかと思いますが、そのスケジュールが現段階でわかっているものがありましたら教えていただければと思います。お願い致します。</p>
	<p>(事務局 企画振興課長)</p> <p>公共交通の所管が企画振興課となりますので、立地適正化の区域、それから新幹線のみならず八雲町全体の公共交通を検討していくこととなっております。</p> <p>予定と致しましては、平成31年度に計画策定に着手していくことを考えております。</p> <p>3月に地域公共交通会議を立ち上げ、国の補助等もありますが、現在は補正予算の対応で実施してまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
	<p>(JR北海道)</p> <p>ありがとうございます。</p>
	<p>(会長)</p> <p>その他ございますか？</p>
	<p>(委員)</p> <p>新幹線の駅の近くに残土を捨てていますよね？トンネル工事の掘削残土を捨てているのですけれど、あの場所はどうなるのでしょうか？新幹線新駅の近く、たぶん出てすぐ見える所になると思うのですが。</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室長)</p> <p>具体的に何をするという事は決まっておりません。将来的には駅に関する施設等があれば整備したいと考えております。</p>
	<p>(町長)</p> <p>皆さんご存知の通り採石場の跡地で、諸条件もあり難しい土地でありましたけれども、採石場の構造物、建築物があつたり等により、そのままでは景観的に良くないため、そこに無対策土という新幹線のトンネル工事でも特段対策をしなくていい土によってある程度整地したということがございます。盛土が完了した時点での活用方法は決めていませんが、これから新幹線駅周辺整備のなかで、委員の皆さんや議会とも相談しながら何か作れるものであれば作るかと考えております。景観に配慮したということでご理解をお願い致します。</p>
	<p>(会長)</p> <p>委員さんがお話しされていたのは、新幹線駅ができる周辺なので、どうなのかということでの発言だと思いますので、それにつきましては町長からお話がありましたように、景観上良くないためそこに土を均して、その後ももしあの土地が必要だということになれば活用していくこととのことです。現段階では方針は決まっていないということでございますので、検討会議としましては町長の意見をそのまま受けることにしたいと思っております。</p> <p>その他何かご意見等ございますか？</p>
	<p>(委員)</p> <p>この委員会はトンネル工事のやり方について議論する場所ではないので、そのことについて質問したいことがあるのであればそれは別の機会に取っておくことにしておき、先ほど駅舎のイメージが説明されて、急に具体的なイメージを膨らませられるようになったのです</p>

	<p>が、新幹線の駅は皆さんご存知のように2種類ありますよね？</p> <p>早い列車を通過させられる駅と、全部停まらなくてはならない駅になると思いますが、新八雲駅は早い列車を通過させる線路はない駅になるのですか？</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>正式にどこから出ているというわけではありませんが、インターネット等で時刻表などを予想されている方がいるようなので、そちらでは札幌へまっすぐ抜けるような、各駅停車だけが八雲に停まるようなものとなっております。</p>
	<p>(委員)</p> <p>ということはそのためのバイパスはつくらないで、全ての列車が通過するか停まるかはわからないけれど同じ所を通過するということですね？</p>
	<p>(事務局 新幹線推進室参事)</p> <p>そうです。今のところ構想上では2面2線、二つの線路にホームが二つという状態で聞いております。</p>
閉会挨拶	<p>(会長)</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>特に無いようですので、私の方から一言申し上げます。委員の皆さんには約2年間、全6回の会議にご出席いただき、貴重なご意見をいただきどうもありがとうございました。会長として会議の進行をしてみましたが、不十分なことが多々あったのではないかと感じておりますが、皆さんのご協力により、計画案をまとめることができました。この間の皆さんのご協力に感謝申し上げ、本会議の閉会とさせていただきますと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
閉会	<p>(事務局 新幹線推進室長)</p> <p>それでは本日の会議を終了したいと思います。これまで皆様方におかれましてはお忙しい中、会議にご出席、ご協力いただき誠にありがとうございます。新駅整備の関係につきましては来年度以降も引き続き具体的な検討を行っていきますので、その際にはまたどうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それでは、以上をもちまして閉会致します。ありがとうございました。</p>